

平成28年度第2回みよし市総合教育会議 会議録

日 時		平成29年2月23日（木）午後3時開会
場 所		みよし市役所6階 601・602会議室
出 席 者		市 長：小野田 賢治、教育長：今瀬 良江、 教育長職務代理者：古田 みどり、教育委員：久野 元典、 教育委員：藤森 猛、教育委員：天野 博道
出席した職員		政策推進部長：増岡総一郎、教育部長：柴田圭一、 政策推進部次長：原田清明、教育部次長：鈴木正憲、 文化振興専門監兼図書館長：深谷幸広、企画政策課長：野々山清、 教育行政課長：深谷正浩、歴史民俗資料館館長：神谷浩一、 学校教育課長：増岡潤一郎、給食センター所長：廣瀬敏文、 スポーツ課長：深谷鐘治、生涯学習推進課長：山崎正勝、 生涯学習推進課主幹：村山孝文
書 記		教育行政課副主幹：伊藤益好
傍 聴 者		なし
開 会	企画政策課長	<起立、礼>
	企画政策課長	ただ今から平成28年度第2回総合教育会議を開会いたします。最初に、小野田市長がごあいさつを申し上げます。
市 長 挨 拶	市 長	本日はご多忙の中、平成28年度第2回みよし市総合教育会議を招集しましたところ、教育長及び教育委員の皆様にご出席をいただき開催できますことに、まずもってお礼を申し上げます。本日の会議では、「教育に関する主要事業の平成28年度実績及び平成29年度事業計画等について」を議題としてさせていただいております。平成29年度予算の編成作業も完了し、一般会計予算額は平成28年度当初と比較してマイナス7.3パーセント、17億6,700万円の減額を見込んでおります。非常に厳しい財政状況であります。そうした中、教育費の予算としましては、平成28年度に中学2年生まで拡大いたしました少人数学級を、29年度からは中学3年生まで拡大することをはじめ、4月に開所する教育センター「学びの森」の運営、サンアートや北中学校の大規模改修などの予算を積極的に計上しております。子育てや教育は、市にとって非常に重要なものだと思っております。忌憚のない意見をいただき、「みよしの教育」の一層の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。会議開催にあたってのあいさつとさせていただきます。
	企画政策課長	ありがとうございました。続きまして、今瀬教育長からごあいさつをい

		表の順番が回ってくる場合は、その学校区に3万円を上乗せします。No.3「みよし未来塾推進事業」は、28年度から新たな事業として開始しました。今年度は夏休みに10日間、冬休みに3日間実施しました。来年度も同様に開催してまいります。No.4「小中学校普通教室空調機設置事業」は、27年度に中学校普通教室、28年度に小学校普通教室に空調機を設置しました。課題として、特別教室、特に音楽室に空調設備が必要と考えていますので、財政当局とも相談しながら、対応してまいりたいと思います。No.5「小中学校コンピュータ整備事業」は、29年度にスポット的に行う事業です。市内の学校では、現在はタブレットを授業で活用していませんが、今後を見据え、来年度、小学校、中学校それぞれ1校を指定校とし、タブレットを10台ずつ導入し、1年間かけてその有効性を検証します。No.6「小学校体育館非構造部材耐震化工事」は、市内の学校の構造体は耐震化を完了しているので、耐震基準を満たしていますが、東日本大震災を受けた平成25年の建築基準法改正により、新たに改修が必要になったために行う工事です。具体的には、体育館や武道場の天井材や天井材に据え付けてある照明器具が危険ということですので、天井の撤去や照明を柱に直付けする工事を行います。29年度当初予算での工事を予定していましたが、28年度に国の第2次補正予算で事業の内定をいただきましたので、市の3月補正予算に計上しました。ただ、年度内に工事ができませんので、全額を翌年度に繰越し、29年度に工事に着手します。No.7「北中学校大規模改修事業」については、28年度に第1期工事として、南校舎管理棟と武道場の改修工事を行いました。先ほどの小学校の非構造部材耐震化工事同様、2期工事を3月補正で計上し、次年度へ繰り越して事業を行います。2期工事の内容は、北校舎、技術科棟、屋内運動場の工事です。29年度当初予算としては、特別教室の備品等の移転を予定しています。No.8の「奨学金支給事業」は、奨学金を28年度は高校生11人、大学生5人に支給しました。29年度からは支給額を高校生は月6,000円を8,000円、大学生は月8,000円を12,000円に増額し、予算上は高校生15人、大学生10人を見込んで計上しています。
	資料館館長	資料館としては資料No.9からNo.13になります。主な事業は、No.11「資料館展示事業」として、平成28年度に展示室のリニューアルを行い、29年4月にオープンします。29年度は展示リニューアル記念事業として、講演会や体験講座を予定しています。特別展についても、魅力ある企画に努めてまいります。No.13「石川家住宅管理事業」は、古い建物の中で昔の生活や遊びを体感してもらい、文化財を理解していただくことと、来館者を増やすため、毎週行っている体感講座を充実させます。
	学校教育課長	学校教育課からの説明は7件です。資料No.14「小中学校臨時職員（業務員・配膳員）人件費」について、28年度は小中学校に業務員11名、配膳員20名配置しましたが、29年度は新規に学校の環境管理作業業務員を4名配置する予定です。校務主任、教務主任が児童生徒の指導に集中できるよう、環境美化等、子ども達に直接関係しない業務を手伝ってもらうものです。No.15「小中学校非常勤講師配置事業」は、宿泊訓練時に引

		率する養護教諭の穴を埋めるため、28年度に初めて1名配置していただきました。学校からは、残った生徒たちの安全のために役立ったという意見をいただいています。29年度は中部小学校に難聴学級が新設されるため、校内の教員を指導したり、対象児童の指導をしたりする特別支援教員等対応非常勤講師を1名配置する計画をしています。No.16「初期指導教室運営事業」は、27年度より開始した事業です。28年度は登録児童生徒数26名、退室児童生徒数は9名です。26名のうち、平均すると毎日10名程度が登室し、それ以外の時間は学校で過ごしています。これを29年度も継続します。No.17「人権教育総合推進事業」は、国、県の委嘱を受けて28年度から開始した事業です。三好丘中学校区において、小学校、中学校、地域が一体となった人権教育を進める調査研究事業です。28年度から30年度までの3か年、継続してまいります。予算88万円はすべて、国、県からの委託費です。No.18「特別支援教育対応非常勤補助者・学校支援ボランティア派遣事業」は、28年度までは各校に特別支援教育対応教員補助者として、聴覚障害児対応の者1名を含めて25名を配置しました。29年度はそれに加え、派遣時間数を6,012時間増やし、通常学級に在籍する特別な支援の必要な児童生徒への対応にも力を入れようと考えています。No.19「みよし市教育センター管理運営事業」は、28年度にみよし市教育センターの改修工事が終了しましたので、29年4月には開所します。来年度は開所に伴う管理運営を行っていきます。No.20「小中学校教材備品等整備事業」は、28年度と比較して、理科備品や消耗的備品費が4,666千円の増額ですが、国の2分の1の補助を受けることができます。エネルギー教育推進事業は新規になります。国の補助率は10分の10です。240万円分のエネルギー教育に関する備品の購入を行ってまいります。学校教育課の予算ではないのでこちらには記載しておりませんが、35人学級を28年度から市単独で、中学2年生で実施していただき、更には来年度、中学3年生でも実施していただく計画になっております。これで中学校3年間の少人数学級が実現しますので、よりきめ細やかな生徒の指導にあたっていきたいと思います。
	給食センター 所長	資料No.21「給食センター調理場天井耐震化等改修事業」は、耐震基準に適合するよう、天井が落ちにくい構造に変える工事です。平成21年3月に文部科学省から学校給食衛生管理基準として、調理場内の温度は25℃以内、湿度は80%以下となるように努めるよう告示がありました。現在の機器ではこの目標を達成できませんので、天井工事に併せ、空調工事も行います。29年度に煮炊き室の天井工事を行いますが、煮炊き室は特に空調工事が大変なので、29年度予算は28年度予算よりも増額になっています。工事に伴い、29年度は7月18日から20日までと、9月1日に給食を中止する予定です。
	スポーツ課長	資料No.22「総合体育館トレーニングルーム拡充事業」について、昨年12月8日にトレーニングルームをリニューアルオープンしました。トレーナーは29年度も継続して常駐する予定です。No.23「ゲートボール場兼三好公園駐車場用地取得事業」については新規事業です。現在、賃貸借

		しているこの用地を取得するものです。5筆の内、2筆を取得します。No.24「カヌー競技東京オリンピック強化指定選手賞賜金交付事業」も29年度の新規事業です。カヌーのまちみよしの推進と、東京オリンピックの啓蒙活動を目的に、日本オリンピック協会から東京オリンピックの強化指定を受けた選手へ賞賜金を支給し、選手の強化と育成を図るものです。No.25「カヌー競技全国大会補助事業」は、日本カヌーポロジュニア選手権大会を隔年に開催し、カヌーの普及振興と審判技術の向上などを行っておりますので、この事業に対し補助するものです。28年度の出場者はほとんど市内の選手ばかりだったので、研究会を通じて日本カヌー連盟にその状況を報告し、市外からの参加者が増えるような方策の検討を要望していきます。No.26「総合型地域スポーツクラブ運営補助事業」として、28年度は既存の2クラブと、設立準備委員会への支援を行いました。昨年6月、きたよし地区に市内3番目として「三好ともいきスポーツクラブ」が設立されました。29年度も3クラブの運営支援を行い、問題点を共有し、解決できるよう、連絡調整会議の場を設けるよう準備しております。
	生涯学習推進課長	資料No.27「みよし悠学カレッジ講座運営事業」として、28年度は7月までは生涯学習センターで、サンライズ開館後はサンライズで、合計150講座開催しました。29年度は186講座を予定しています。No.28「図書館学習交流プラザ管理運営事業」の28年度の主な事業として、悠学カレッジ学長を講師に開館記念講演会と、記念読書講演会を実施しました。開館から12月までの図書館入館者は161,162人、生涯学習センターの利用者は32,293人で、12月までの稼働率は全館平均53.59%です。開館後、利用者からの要望に対する改善では、図書館内の自習スペースを閲覧室のみから、1階ティーンズコーナーの個人スペース、2階南側の個人スペース、読書テラスを自習利用可能に拡大し、54席から124席に拡大しました。29年度はシティプロモーション事業として、1階「情報の道」にモニターを設置し、市内の古窯や悠学カレッジの紹介画像を放映する等、来館者にPRしていきます。
	生涯学習推進課主幹	資料No.29「図書、逐次刊行物の整備事業」として、29年度は雑誌328種、図書・視聴覚資料は中央図書館分12,880点、サンネット分930点を購入予定です。No.30「図書館電算事業」の予算は、旧図書館から移設したデータの保守並びに新図書館での増設したデータセンターの使用料と、図書館システムの賃借料です。No.31「図書館窓口等運営事業」は、28年度からサンライズ内の管理運営事業を業務委託しており、30年度までの契約です。
	市長 藤森委員	ただいま説明のありましたことについて、皆様からのご意見等をいただきたいと思います。挙手のうえ、ご発言をお願いいたします。 今年度も来年度も、主要事業はどの事業とてもよいと思います。市長の公約にもあったように、少人数学級が具体化され、近隣に先駆けての実施は素晴らしいです。特に中学3年生は近い将来、センター試験がマーク式から記述式に変わる最初の学年ですし、教員の負担を減らしてほしいという声にも応えているので、ありがたいと思います。また、昨今のいじめ問

		題では、みよし市にも対策委員会がありますがその対応は大変重大で、市のイメージへのダメージは大きいです。少人数学級にして、先生を応援することは非常に大切なことであると思います。
久野委員		機構改革で生涯学習推進課が教育委員会に入り、教育行政課に青少年事業も来ましたが、1年を振り返って計画どおりにいったのか、自己評価はどうでしょうか。
教育行政課長		青少年健全育成事業は、目に見えた効果は数字では表しにくいですが、同じ教育委員会として学校教育課がすぐ隣の席にあり、指導主事にも相談でき、思っていたことはできたのではないかと思います。
教育長		中学校卒業後の子どもにも声掛けをしておりますし、みよし未来塾にも高校生が参加しています。卒業してから進路に困っている子どもへの早めの対応もできており、大きな成果であると思っています。青少年補導員と生徒指導主事との情報交換もスピーディーに行えたと思います。
生涯学習推進課長		今までは図書館と生涯学習講座が別々の部署でしたが、一緒に企画できるようになりました。サンライズで講座を行うことにより、悠学カレッジで行っていた講座を、夜にも開催できるようになりました。
久野委員		生涯学習推進課は、他課と連携した独特の企画は特にないですか。
生涯学習推進課長		旧図書館では部屋が狭かったですが、サンライズでは軽運動室を使うこともできますので、今後は利用者の希望を聞いて講座を開催していきたいと思っています。
古田委員		みよし未来塾の対象は中学生、高校生ですが、小学生を対象にする予定はないですか。小学生のうちに勉強の習慣が定着していないと、中学生からの習慣づけは難しいと思います。
教育行政課長		小学生も対象にしてほしいという声はあります。この事業は28年度からの新たな事業でして、県内でも行っている市町は少ないですが、県としては事業を広げていきたいようです。小学生の話がありましたが、今は市役所近くの会場1箇所での実施ですので、北部や南部など、将来的に規模を拡大可能かどうかも含め、利用者の意見を聞きながら検討していきます。
学校教育課長		小学生を対象にしたものとして、長期休業中に小学校ごとに子どもを集め、学級担任が入れ替わり1週間程度の学習の機会を作っています。三吉小学校では、校区が広いので地域の公民館を借り、そこに教員が出向いて勉強を見えています。
古田委員		今回からタブレットを学校で試験的に導入するとありますが、タブレットを使って勉強すると子ども達は楽しいと思います。色々なことを組み合わせ、例えば、生涯学習でボランティアの資格を取れる講座があつて、資格を取った人を未来塾に派遣できるようなこともあればいいと思います。
教育行政課長		お話のありましたとおり、未来塾を拡大すると、学習支援員の人材確保が心配されるところです。学習支援員は広報やホームページで募集しており、この冬は多くの応募があつたのできめ細かい対応ができましたが、参加人数や開催場所が増えると、現在の支援員の人数では対応が難しいです。養成講座も一つの案だと思います。タブレットの話がありましたが、

	久野委員	みよし未来塾は塾に代わるものではなく、学習の場を提供し、自主学習のお手伝いをメインに考えています。ですが、この形にこだわるのではなく、今後実施していく中で、色々なやり方を検討していきます。
	スポーツ課長	体育館でのサーキットトレーニングが充実しましたが、利用状況はどうですか。
		オープンして3カ月になりますが、1日あたりの利用は、12月は27名、1月は39名、2月は45名です。昨年は1日あたり16名ほどでしたので、2.3倍程度の伸びです。新規の利用者は、3か月間で約250名、男女比は2対1で男性のほうが多いです。午前、午後、夜間の部では、女性は昼間の利用が多いですが、男性はどの時間帯も平均して利用しており、トレーナーが常についています。
	久野委員	年齢はどうですか。
	スポーツ課長	統計はとっていませんが、60歳以上の方がよく利用されています。
	久野委員	図書館で本を読んでいる人にも利用してもらわないといけないと思います。生涯学習も、退職して時間に余裕のできた高齢者向けの講座があると、まだまだ勉強できていいと思います。
	政策推進部長	体育館に新しい機器が導入され、市でも保健センターを中心に高齢者の健康維持を市の大きな施策の一つとして捉えています。体育館のトレーニングルームを利用して、4月から健康評価事業を実施してまいります。50歳台、60歳台をターゲットに、週に1回ほど健康評価を受けてもらい、健康評価の結果を元に、自分にどんな運動が適しているのか、生活習慣はどんな具合かというものを、トレーニングルームとリンクした事業として行っていきたいと思います。
	久野委員	教育プランでは、市民が発信する生涯学習活動を応援しますとありますが、資料の主な事業には見当たらないようです。地域や自主的サークルの生涯学習活動を助成とありますが、具体的な事業はありますか。生涯学習発表以外にはありますか。
	生涯学習推進課長	生涯学習の活動団体に対して、生涯学習発表会を3月の4日、5日にサンアートで開催します。補助事業については、10名以上いて、8割以上が市内の人で構成、活動開始から2年、あるいは行政区で活動している、という基準で補助を行っています。
	久野委員	悠学カレッジなどの講座後のフォローとして、自主サークルを進めていけるものですか。
	生涯学習推進課長	悠学カレッジで生涯学習講座を受講されている人は、最近自分たちでグループを作って活動していこうという方向性が見られないです。来年度以降は、文化協会も高齢化が進んでいますので、文化協会とタイアップし、他のところでも学習できる形も含め、講座の構成を検討していきます。
	久野委員	これからは生きがいを求めていくことが必要だと思いますので、高齢者の生涯学習についてお聞きしました。
	教 育 長	初心者でも入りやすいような講座がないと裾野が広がらないので、文化協会の人が先生となって、敷居を低くした講座ができないか考えるよう話をしておりますし、中高生も来られるような講座もできないかということ

		を課題としています。
藤 森 委 員		生涯学習講座は1回あたり500円なので、とてもありがたいです。ぜひ継続してほしいと思います。悠学カレッジは10回をベースに開催されており、それ以外のときは自主サークル的に公民館などを利用して行っている方もいるので、補助を考えていただければと思います。
久 野 委 員		自主サークルがあれば、先ほど説明された補助金があるので、呼びかけをすれば数が増えていくのでは。
生涯学習推進課長		講座を開催していない講座と講座の間の期間に活動を行っている人もいますが、1年間を通して自分たちで自主的な活動をしていることにはなっていないので、そちらにも声掛けをしていきたいと思います。
市 長		自主サークルの発展を期待しているが、現状はそこまで至っていないということですね。
生涯学習推進課長		はい。
藤 森 委 員		サンライブが新しくでき、図書館の開館時間も延長され、以前より使いやすくなっていると思いますが、サンライブの音楽室と軽運動室のピアノは、ふれあい交流館にあったアップライトピアノを入れただけなので、今後はグランドピアノを入れていただきたいです。音楽だけでなく、児童や幼児に対するリトミックなど、サンライブの施設を継続的にリニューアルしていくことも考えていただきたいです。
久 野 委 員		私は近隣の市の施設を使うこともあります。エレキギターやドラムを使えるような設備のところもあります。今すぐには無理でしょうが、若い人も使えるような、音楽室らしい使い方をできる設備があるとありがたいです。
生涯学習推進課長		グランドピアノについては、スペースが狭くなるので、他の利用者もあるため、アップライトピアノでお願いしたいと思います。サンライブで大きな音を出すと音や振動が下に響きますので、ドラムなどは難しいですが、長い目で見た場合、改修等が必要であれば考えていきたいと思います。
久 野 委 員		大きい音が出せないのであれば、音楽室の名前は変えたほうがいいのでは。
教 育 部 長		基本的に音楽はサンアートで行ってもらい、カリヨンハウスにも狭いですが完全防音の部屋がありますので、そちらを利用させていただきたいと思います。サンライブは図書館を併設しているので、大きな音の出るものは想定して造られていないです。
藤 森 委 員		合唱のような音は遮断できているので、施設としては機能していると思います。
久 野 委 員		音楽室という名称では、大音量をだしていいと勘違いしてしまうので、名称は検討してみてください。
政策推進部次長		現在、地域で使える拠点施設が計画されており、その中に音楽室の要望もありましたので、担当課で検討していたと思います。
市 長		資料No.29「図書、逐次刊行物の整備事業」で、図書、購入費などの購入費予算は前年度と一緒ですが、28年度は雑誌303種、29年度は328種となっています。その違いは何ですか。No.27「みよし悠学カレッ

		ジ講座運営事業」の高齢者向けの講座ですが、福祉関係とタイアップを考えないといけないと思っています。健康寿命の延伸にも繋がりますし、行政と会社や労働団体と連携を取りながら、60歳代の人の健康寿命管理として、自分で健康管理していない人への働きかけのために知恵を絞ってほしいです。No.21「給食センター調理場天井耐震化等改修事業」の天井工事は、国の補助金があるのでしょうか。No.20「小中学校教材備品等整備事業」のエネルギー教育推進事業については、エネルギー教育のソフト面についても考えてもらいたいです。No.18「特別支援教育対応非常勤補助者・学校支援ボランティア派遣事業」は、難聴の人のための補助員を、非常勤講師として雇用するのですか。No.6「小学校体育館非構造部材耐震化工事」で体育館の天井を取ってしまいましたが、天井ありのままの工事はできなかったのですか。
	生涯学習推進課主幹	No.29「図書、逐次刊行物の整備事業」の雑誌購入数が同じなのに予算額が一緒なのは、雑誌スポンサーを活用するための増です。
	生涯学習推進課長	No.27「みよし悠学カレッジ講座運営事業」では、高齢者向けの講座として認知症予防や体を動かすレクリエーションを行っていますが今後も健康な体を維持していくような講座を検討していきたいと思います。
	市長	高齢者向けの健康講座以外、働いている人たちへの健康講座も考えてください。
	生涯学習推進課長	高齢者限定の講座もありますが、限定でない健康講座もありますので、そちらを受講することができます。
	市長	表現の仕方を変えて、アピールしてってください。
	学校教育課長	No.20「小中学校教材備品等整備事業」のエネルギー教育推進事業は、県が行うエネルギー教育推進事業を行うものです。発電所の見学や備品の購入などのメニューがあり、本市では、今の学習指導要領から新たに付け加わった、放射線の学習に関する備品を購入し、授業で使用していただきます。被災者の避難先でのいじめも問題となっているので、正しい科学的知識を得て、正しい判断と行動ができるようにと申請しました。No.18「特別支援教育対応非常勤補助者・学校支援ボランティア派遣事業」は、聴覚障害児用の教室を作ってもらったときに、補助者を1人雇用しており、聾学校の非常勤講師の方に来ていただいておりますが、実際には教員の指導など、特別支援学級を支援するようなこともしていただいておりますので、補助者ではなく、非常勤講師として、指導にも入っていただける人を雇用するものです。
	給食センター所長	No.21「給食センター調理場天井耐震化等改修事業」は、補助対象にならないか色々探してみましたが該当するものがなく、市の費用になってしまいます。
	教育行政課長	No.6「小学校体育館非構造部材耐震化工事」は、補助事業で行う以上、そのルールの中で工事を行う必要があります。
	藤森委員	友好都市との提携では、コロンバス市と士別市の交流は盛んですが、木曽町との交流があまりされていないと思います。人的な交流を木曽町についても行うとよいと思います。

閉 会	市 長 企画政策課長	以上で、本日の議事は終了します。本日の日程は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。 以上で、平成２８年度第２回みよし市総合教育会議を閉会します。 《起立、礼》 (午後４時４０分)
--------	----------------------	---